

WASEDA MECHANICAL ENGINEERING

WASEDA MECHANICAL ENGINEERING

Newsletter

VOL. 26

2006年(平成18年)10月1日発行

OCT. 2006

2006年度機友会総会の報告

5月27日午後1時30分より理工学部56号館101教室にて開催されました。

総会での議事は杉島和三郎会長の進行で「2005年度の事業報告と決算報告・監査報告」、「2006年度の事業計画(案)事業予算(案)」と「役員改選」についてでした。06年度の役員は新・旧の交代があり、新たな気持ちでより活発に活動していくと思われまます。理事・監事の交代

者は下記のとおりです。

また、機友会特別賞・奨学論文賞の授与ならびに発表が8件ありました。今回の発表ではインタビュー方式が採用されコンパクトにまとめられていて、内容も興味深いものでした。

総会当日はあいにく雨の日でしたが、約80名の方々の参加があり、スケジュールのメインは研究室と実験室の見学でし

た。各見学場所では、教員および修士・学部の学生さんが熱心に説明してくれました。最後の懇親会ではOBの方々と同僚学生との交流で、予定の時間を越えるほど盛り上がりました。

来年も5月に行いますので卒業生の皆様のご出席をお待ちしています。

下記のとおり2005年度の会計報告があり承認されました。

第2号議案 2005年度決算報告書

収入の部

| 費目 | 予算額 | 決算額 | 増減 | 備考 |
|------------|------------|------------|-----------|----|
| 前納分会費 05年分 | 4,189,821 | 4,189,821 | | |
| 当期入金 05年分 | 1,600,000 | 1,483,000 | △117,000 | |
| OB会員 | | 1,224,250 | | |
| 学生会員 | | 258,750 | | |
| 賛助会費 | 200,000 | 0 | △200,000 | |
| サポート費 | 500,000 | 1,517,000 | 1,017,000 | |
| 企業賛助金 | 800,000 | 150,000 | △650,000 | |
| 雑収入 | | 173 | 173 | 利息 |
| 収入計 | 7,289,821 | 7,339,994 | 50,173 | |
| 前年度繰越金 | 3,009,595 | 3,009,595 | 0 | |
| 合計 | 10,299,416 | 10,349,589 | 50,173 | |

支出の部

| 費目 | 予算額 | 決算額 | 増減 | 備考 |
|------------|------------|------------|-----------|---------------------|
| 事業費 | 5,500,000 | 4,471,533 | 1,028,467 | |
| ニュースレター発行費 | 4,000,000 | 2,955,510 | 1,044,490 | |
| 学生支援費 | 300,000 | 424,850 | △124,850 | 機友会費、サークル活動 |
| 奨学金 | 300,000 | 200,000 | 100,000 | |
| 総会・会議費 | 600,000 | 672,166 | △72,166 | |
| 行事・活動関係費 | 300,000 | 219,007 | 80,993 | パネルディスカッション、ホームカミング |
| 事務運営費 | 3,290,000 | 3,465,947 | △175,947 | |
| 人件費 | 1,800,000 | 1,902,800 | △102,800 | |
| 交通費 | 360,000 | 394,340 | △34,340 | |
| 通信費 | 250,000 | 182,077 | 67,923 | |
| 事務文具・印刷費 | 380,000 | 380,630 | △630 | |
| 慶弔費 | | 25,750 | △25,750 | 川瀬教授 供花・香典 |
| データベース管理費 | | 18,480 | △18,480 | |
| HP契約 | 500,000 | 405,300 | 94,700 | |
| 振替手数料 | | 67,620 | △67,620 | |
| その他雑費 | | 88,950 | △88,950 | |
| 支出計 | 8,790,000 | 7,937,480 | 852,520 | |
| 次年度繰越金 | 1,509,416 | 2,412,109 | 902,693 | |
| 合計 | 10,299,416 | 10,349,589 | 50,173 | |

- ・賛助会費: 会員からの寄付金 今後サポート費に一本化
- ・サポート費合計 1,517,000円集まり予算を大きく上回りました
- ・会費(05年度入金予定)はOB会員からの入金減少(04年度入金は1,639,120円)予算額を下回りました
- ・企業賛助金: パネルディスカッション当日開催のガイダンス参加企業よりの参加費、予定を下回りました

予算決定時 単年度収入(繰越金を除く)7,339,994円に対し、支出8,790,000円と赤字1,450,006円を予定し繰越金を大幅に取り崩す予定でしたがサポート費を多くの方がお送りくださったのと、支出面では主としてニュースレター発行費の削減ができたので、597,486円の赤字にとどまりました。

収支差額

収入額 7,339,994
支出額 7,937,480
△597,486

■ 退任

高橋 誠祐 理事
大町 一彦 理事

■ 新任

泉 智明 理事・浅尾 克治 理事
小澤 勝 理事・矢吹 捷一 理事
寺山 孝男 理事・宮下 朋之 理事
内野 延明 監事

■ 役員変更

山口 富士夫 相談役
青葉 堯 副会長に就任

貸借対照表

2006年3月31日現在

| 借方 | | 貸方 | |
|---------------|------------|---------|------------|
| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
| 新宿北郵便局 | 7,811,264 | 引き継ぎ金 | 6,349,255 |
| 郵便振替分 | 235,130 | 繰り越金 | 2,412,109 |
| 三菱東京UFJ銀行新宿支店 | 238,742 | 預り金 入会費 | 7,335,264 |
| りそな銀行新宿支店 | 1,144,531 | | |
| みずほ銀行新宿西口支店 | 6,655,750 | | |
| 現金 | 11,203 | | |
| 合計 | 16,096,628 | | 16,096,628 |

引き継ぎ金: 1995年機友会再立ち上げ時 旧機友会から積立で金約630万円引き継いだものです。



定年退職にあたって

山口 富士夫



早稲田大学に奉職してから丁度20年、この3月末に定年退職となりました。在職中にお世話になった多くの方々へ本紙面をお借りしてお礼申し上げます。

大学卒業後就職した会社での仕事に疑問を抱き、思い切って退職し、再就職した研究所の時代に、誕生間もないコンピュータグラフィックスの技術に惹かれました。研究所から、その技術の生

みの親であるサザランド教授が活躍していたユタ大学に客員研究員として派遣していただいたり、また10年後にはそのユタ大学から客員準教授として招かれ、1年間講義をしたこともありました。九州の大学時代は、コンピュータグラフィックスの応用としてのCAD技術は如何にあるべきかをずっと考え続け、ようやく「4次元幾何処理」の考えに到達しました。

早稲田に来たのはちょうどそのような時でした。なんとか4次元幾何処理技術の体系を早稲田の学生と一緒に研究し、確立したいと思いました。

早稲田には、多大な経済的負担を伴う東京での下宿生活の犠牲を払ってまで学ぼうとするのですから、こちらが敬服するような心構えの学生が何人もいました。前任の国立大学とくらべ、狭い研究室に4倍もの数の学生が机を並べている風景は国立大学の先生が見たら目を丸くするに違いありません。しかし間もなく、これこそ大学の研究室環境として理想に近いものなのだと確信するようになりました。

研究はテーマ毎に数班に分かれ、修士2年をリーダーとして行われます。理論を重点に行う班もあれば、プログラムを作成し実験をする班、またはシステムを作る班などがありますが、いずれも4次元幾何処理に関する研究という点で共通しています。年度初めともなれば、まず4次元とは何かから、室内のあちこちでリーダーを中心として議論が始まります。4次元という点で共通していますから、班を越えて議論に参加することも容易です。またドアのない隣室から小生も加わったりします。学生達は、このような研究室生活から、講義からは得られない貴重な体験を身につけて行くに違いないと思いました。

このような研究環境の下、研究室が丸となって、これまで存在しなかった4次元幾何処理技術の基本体系を作り上げることが出来たと思っております。従来の3次元処理に比べ4次元処理の特性は期待以上のものでした。英国の曲線・曲面研究の権威フォレスト教授は、「おそらく10年後には、CADシステムにおいて4次元幾何処理が当たり前に使われるようになるだろう」と、小生の退職記念パーティーに寄せられたメッセージの中で述べています。この成果が、600ページを超える英文著書として2002年にシュプリンガー社から出版できたことを、山口研究室のOB、OG諸君と共に慶びたいと思います。

早稲田の20年を回想しての感想を問われたならば、「ただただ愉快であった」という答えになります。役に立つかどうかも分からなかった技術の研究を可能としてくれた早稲田大学の自由な学風がこれからもずっと続いて欲しいと思います。

(機械工学科名誉教授)

故 土屋 喜一名誉教授の思い出 「皆弦機会（みんなげんきか〜い）」

本年6月30日土屋名誉教授が急逝されました。7月31日リーガロイヤルホテル東京において、先生を想う「皆弦機会（みんなげんきか〜い）」に機友会会員、日本機械学会はじめ工学、医学の学会関係者約400名の参加があり盛大に執り行われました。

この「皆弦機会」は先生が楽器による室内楽を楽しみ、また機械工学分野に広く携われた事柄と日頃口癖の語呂合わせでご長男が命名されました。

会場には数々のコーナーが設けられ、また先生がこよなく愛された室内楽を偲び、メンバーの方々による演奏がありました。

先生は以前、日本機械学会、日本人工臓器学会などの会長を務められ、医学、工学の連携の草分け的存在で、補助人工心臓、人工呼吸器、心臓マッサージ機の開発など、東京女子医大との共同研究が多数あります。そのひとつである体内埋め込み型補助人工心臓(EVAHEART)のデモンストレーションが行われました。これは土屋先生が音頭を取り、大田英輔先生、富岡先生、梅津先生らが協力し、昨年5月から実用化されたものです。ご縁の深かった東京女子医大の山崎健二先生から土屋先生との研究にまつわる思い出やこの人工心臓の特徴について話があり、土屋先生が人との出会いを大切に、新しい道づくりに多大なご尽力をされた様子が伺われました。会場内では、土屋先生の最終講義のビデオ上映、公私の数々の写真展示もあり、多くの人が懐かしそうに見入っていました。懇意にされていた赤川次郎氏の直筆の手紙や、先生のユーモラスな入院中の様子をお嬢様が4コマ漫画にされたものの紹介もありました。司会の梅津先生が、時々いろいろな方にインタビューされましたが、故人が実に幅広い交友関係をお持ちであったことが再認識されました。会半ばには出張先から駆けつけた白井総長からもご挨拶があり、2008年に女子医大の隣接地に河田町キャンパスが開設されることになり、土屋先生の永年の思いがやっと実現することが述べられました。

この会は梅津先生をはじめ、機械工学科の先生方、助手の方々、土屋研OB、機友会等が、準備、進行を行いました。遺影の周りに花をいっぱい飾り、長老が次々と弔辞を述べるスタイルはやめて欲しいというご家族の強い意向でこのような形式の会が企画されました。久々に懐かしい顔に出会い語り合う光景、人工心臓の技術的なことを熱心に聴く光景など、文字通りの皆弦機会（みんなげんきか〜い）になったと思われまふ。最後に三輪主任の挨拶と全員の黙祷があり、土屋先生を本当に偲ぶことができました。

(文責 事務局 浅井)

「高橋利衛先生を偲ぶ会」開催される

高橋利衛先生は1987年3月定年退職され、2000年8月逝去された。しかし、定年退職を機とする記念行事、あるいは亡くなられて偲ぶ会が企画されぬままにいた。これは、先生がこのようなことを好まれないという背景があったからである(筆者もそのような教育を先生から受けてきたのも事実である)。しかし、卒業生の有志(代表 森田裕之氏)が、7回忌を機に「高橋利衛先生を偲ぶ会」を企画し、土屋喜一先生を実行委員長に準備を進め(残念ながら土屋先生は6月に逝去された)8月28日に開催の運びとなった。当日は、高橋先生のご令息の明氏、齋藤孟名誉教授にもご出席いただくことができた。明氏からは、卒業生が全く知らない先生のエピソードをお話いただき、齋藤名誉教授からは、機械工学科の学生のための電気工学を自らが担当されたが、自動車がエンジンから燃料電池車等へ大きく変わっていく状況を見ると先見の明があったと思わざるを得ないこと、機械工学科の制御関係の分野を担われた加藤一郎・土屋喜一・町山忠弘・川瀬武彦先生(いずれも故人)らとimaginary partの世界でゼミをやっておられ、出席者はreal partの世界でこのように先生を偲んでいる等のお話があった。出席した卒業生は、それぞれが気持ちの整理をすることができ、あわせて過去の大学時代を振り返り、また明日への活力を充電することができた。なお、卒業生三浦重孝氏が土屋喜一先生と相談されながら、故高橋利衛教授追悼文集「思」をまとめられた(残念ながら、土屋先生に「発行にあたって」の挨拶文を書いていただくこともかなわなかった)。

河合素直(機械工学科教授)

この度、本学創立125周年記念事業の一環としての理工学部創設100周年記念事業へのご協力をお願いしましたところ、機友会会員の方々より多くのご賛同をいただき誠にありがとうございました。現在、記念事業であります仮称63号館の建設工事は、大久保キャンパスのテニスコート跡地に囲いが出来、2008年3月の完成を目指して基礎工事が始まっています。

今までは号館別に用途を分けていましたが、新棟についての設計は、低層階を主として大勢の学生が日常的に利用する施設とし、4階以上の高層階を専門的な研究室群としています。

1階は情報ギャラリーとレストランからなり、賑わいのある学生生活の場となっています。

これらの新しい試みができるのも、機友

早稲田機友会会長 杉島 和二郎
会員の皆様のご寄付の賜物です。2006年8月16日現在、金額6,152,500円の寄付が集まりました。機友会会長として心より御礼申し上げます。団体扱いとしての金額は学科ではトップとなり、学術院長からもお礼をいただきました。機友会は皆様と早稲田大学理工学部を結ぶパイプ役を続けてまいりますので、今後ともよろしく御礼申し上げます。

機友会会員 皆様へのお知らせ

WMEニュースレター25号でお知らせしました、会費納入先に誤りがありました。お詫びして下記のように訂正致します。封筒の宛名ラベルに会費納入状況を記入しております。納入の必要な方は同封の振込み用紙で会費の納入をお願いします。なおサポート費については4ページをご覧ください。

三菱東京UFJ銀行 新宿支店 ⇒ 新宿通支店 に訂正
普通口座 No.2460079

今、イベントがおもしろい!!

機友会では昨年から新企画として見学会とイブニングサロン（通称イブサロ）を開催してきました。見学会ではキリンビール横浜工場と新江東清掃工場を訪問して、先輩や校友から工場の現況説明を受け、ラインや施設の見学をし、終わってから懇親会も開きました。イブニングサロンでは梅津先生の「ものづくりで人間の寿命を延ばせるか?」と高西先生の「ヒューマノイドロボットの話」があり、若干のアルコールをいただいた寛いだ雰囲気の中で最新の研究成果を解説していただきました。本年度は下記のように企画いたしました。奮ってご参加ください。

◆見学会

現在明治通り下に建設中の東京メトロ13号線（池袋～渋谷）の工事進捗状況、駅舎等の見学を行います。

日時 2006年11月10日（金）14:00～16:30頃

集合場所 理工学部55号館（明治通り沿い）1階ロビー

人数 約20名

その他 ヘルメット、軍手着用（先方で準備）。約2～3キロの徒歩になりますので歩きやすい服装でお出かけ下さい。

◆イブニングサロン

今回は機械工学科教授 川本 広行先生から下記の題目について話していただきます。

日時 2006年11月24日（金）18:00～20:00

場所 シルマンホール10階会議室 大久保キャンパスより北へ明治通り沿い

題目 ミクロな運動を制御して画像をつくるープリンターのはなしー

★なお、見学会・イブニングサロン本年度第2回は来年2月頃を予定しています。見学会・イブニングサロンのお申込み、お問合せは機友会事務局まで

エアビジネスアカデミー講座全10回「航空機産業の今後を考える」

理工総研と機械科学・航空学科準備室ではエアバス・ジャパンと提携し、掲題の連続集中講義を開催します。OBの方々も大歓迎です。奮ってご参加ください。

日時 10月10・18・19日、11月13・14日、12月11・12日、以後未定 18:00～21:10

集合場所 理工学部56号館101教室

★詳細は浅川教授まで（03-5286-3270、asakawa@waseda.jp）

第19回 機友会ゴルフコンペ開催のご案内

今回もゴルフ委員会の人達と前回優勝者の山崎 敏さんと一緒に準備を進めています。一人でも多くの方の参加をお願いします。

日時 2006年11月15日（水）8時集合

場所 川崎国際生田緑地ゴルフ場

会費 プレー費 16,000円＋食事代＋5,000円（懇親会費・賞品代・記念写真代）

協技 新ベリア方式（ハンデ上限なし・隠しホールのトリプルカットなし・年齢制限なし）

★参加申込みまだまだ大丈夫です。

早稲田大学ホームカミングデー（稲門祭）のご案内

創立125周年を翌年にひかえ大学も未来に向け、活気に満ち溢れています。今年のホームカミングデー（稲門祭）は10月22日（日）西早稲田キャンパスにおいて開催されます。

卒業から25、35、45、50年目にあたる昭和32年、昭和37年、昭和47年、昭和57年に卒業・修了された方々およびそれぞれの同期入学で卒業年次の異なる方々が招かれます。機友会では例年どおり、式典のあと7号館220教室において、機械工学科の教員を囲んで、ビール片手に歓談していただきたく、当日、会長・事務局スタッフ一同準備して皆様をお待ちしています。

モビリティシンポジウム “最新の自動車技術とモビリティの将来”

環境、エネルギー、安全に関わる最新の自動車技術の紹介と今後のモビリティのあり方を展望します。

日時 2006年11月11日（土）10:00～17:00
場所 早稲田大学理工学部57号館202室
懇親会 シンポジウムの終了後、理工学部内にて
事前登録 不要、**参加費** 無料
主催 早大モビリティ研究会 代表：大聖 泰弘
事務局 本間、糸桜、森根 Tel: 03-5286-3252 Fax: 03-5272-3364 Email: mobility@mse.waseda.ac.jp

パネルディスカッション

日時 2006年12月2日（土）13:00～17:00
場所 57号館201室
出席者 機友会会長、今年度就職担当：藤江先生、来年度就職担当：本村先生および主要各社のOB（5～6名）のパネラーを予定

サポート費を求めています。

いつも会員の皆様には、機友会の活動に何かとご支援、ご協力をいただき誠にありがとうございます。気軽に楽しみ、参加できる機友会の運営を目指して一同頑張っていますが、まだまだ力不足です。いろいろご意見をいただき出来るものから取り入れてゆきたいと考えております。

会員の皆様から納入いただいている、機友会の会費から機械工学科の新入生を対象としたコンテストを行い、優秀な論文の学生には奨学金として（10万円）を出しています。この他にも、学生のサークル活動やユニラブなども支援しています。

これらを継続・維持するために、財政的にたいへんな苦勞をしています。また、卒業後50年を迎えると会費免除になる制度があるのも、財政を圧迫している要因です。

そこで暖かいご支援をいただくため【サポート費】の項目を会費の振込み用紙に設け会員の皆様からのご寄付を賜りたくお願いしています。金額は問いませんので出来れば毎年のご協力をお願いします。



理工キャンパスと西早稲田キャンパスを結ぶ連絡バスです。今年から大型バスになり、平日は25便、土曜は8便運行されいつも満員の状態です。

会員訃報

2006年5月以降に下記の会員の訃報について連絡がありました。

ここに、謹んでご冥福をお祈りいたします。

| 卒年 | 氏名 | 逝去年月 |
|-----|-----------|---------|
| 昭14 | 旧機 山根 敏孝 | 2002 |
| 昭16 | 専機 織田 厚 | 2005.12 |
| 昭17 | 旧機 安西 真 | 2006.1 |
| 昭23 | 専機 成田 隆 | 2006.7 |
| 昭29 | 工研機 土屋 喜一 | 2006.6 |
| 昭29 | 二理 柳沼 美允 | 2005.5 |
| 昭35 | 一理 馬瀬 清 | 2005.7 |
| 昭36 | 一理 芦田 徹志 | 2005.12 |
| 昭36 | 一理 永岡 義一 | 2005.2 |
| 昭44 | 理工 笹山 俊彦 | 2005.8 |

WME ニュースレター編集後記

第26号のWMEニュースレターをお届けします。本年度の予算案では、経費節減のためニュースレターの発行は25号一回にとどめる予定でしたが、ご連絡が疎遠になることを慮り、ページ数を減らし、ショートフォームで発行することにしました。秋にはいろいろな催し物がありますので、諸案内ご一読のうえ、奮ってご参加ください。

（深町一彦）

WMEニュースレター vol.26

発行元 早稲田機友会編集委員会
 〒169-8555 東京都新宿区大久保3-4-1
 早稲田大学理工学部内55号館S棟2階
 TEL 03-3203-4141（大代表）内線73-5252
 TEL/FAX 03-3205-9727
 Email: kiyukai@mse.waseda.ac.jp

印刷 音羽印刷株式会社
 〒162-0801 東京都新宿区山吹町15番地